

※本資料の吹き出しにおいて、各用語は次のように表記する。

- ・SDGs未来都市計画・・・計画
- ・自治体SDGsモデル事業（または「特に注力する先導的取組」）・・・モデル事業等
- ・自治体SDGs推進評価・調査検討会・・・検討会

SDGs未来都市等進捗評価シート

〇〇都道府県〇〇市区町村

2021年8月

SDGs未来都市計画名

自治体SDGsモデル事業
又は特に注力する先導的取組

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

(1) 計画タイトル

提案時のタイトルを記載してください。

(2) 2030年のあるべき姿

計画「1.1 (2) 2030年のあるべき姿」から引用してください。
枠内に収まらない場合等には、要約して記載してください。

(3) 2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール



(4) 2030年のあるべき姿の実現に向けた取組の達成状況

| No | 指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号 | 当初値 | 20XX年（現状値） | 2030年（目標値） | 達成度（%） |
|----|---------------------------------------|---------------------------------|--------------------------|-------------------------------|--------|
| 1 | 年間〇〇数【8.3, 8.4, 8.9】 | 2016年 1,388 万人 | 20XX年 万人 | 2022年 1,800 万人 | |
| 2 | SDGsをテーマとした連携自治体数【11.3, 11.7, 11.a】 | 2016年 - 自治体 | 20XX年 自治体 | 2030年 10 自治体 | |
| 3 | 〇〇に満足している人の割合【3.4, 3.6, 11.2, 11.7】 | 2013年 82.1 % | 20XX年 % | 2028年 90 % | |
| 4 | 〇〇に満足している人の割合【3.4, 3.6, 11.2, 11.7】 | 2013年 82.1 % | 20XX年 % | 2028年 90 % | |
| 5 | 〇〇における温室効果ガス排出量【7.2, 7.3, 13.1, 13.3】 | 2015年度 1,251 万t-CO ₂ | 20XX年 万t-CO ₂ | 2030年度 701 万t-CO ₂ | |
| 6 | 〇〇におけるごみ排出量【12.2, 12.6, 12.8】 | 2016年度 59.1 万t | 20XX年 万t | 2027年度 52.3 万t | |

(5) 「2030年のあるべき姿の実現に向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

上記（4）の進捗状況を踏まえ、順調に進捗したもの、進捗が思わしくなかったものについて、特筆すべき内容を記載ください。（すべての項目を記載いただく必要はありませんが、進捗状況の悪いものについては対応策を含め記載してください。）
計画書に記載の「行政体内部の推進体制」、「情報発信・普及啓発」、「ステークホルダーとの連携」、「地方創生・地域活性化への貢献」について、変更や進捗したものがあれば、特筆すべき内容を記載ください。（過年度から変更等がないものについては記載いただく必要はありません。）

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2018年～2020年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

| No | 取組名 | 指標名 | 当初値 | 2018年実績 | 2019年実績 | 2020年実績 | 2020年目標値 | 達成度(%) |
|----|--------------------------------|-----------------|--------------------|-------------|-------------|---------|-----------------|--------|
| 1 | 都市のサステナビリティの向上を通じた、〇〇に向けた取組 | 〇〇ランキング | 2017年 18位 | 2019年 20位 | 2019年 20位 | 2020年 位 | 2020年 20位以内(目標) | |
| 2 | 持続可能な消費形態の確保を通じた、地域経済循環に向けた取組 | 〇〇市の「〇〇〇〇」認定 | 2018年6月 未認定 | 2019年 認定 | 2019年 認定 | 2020年 | 2020年 認定 | |
| 3 | 日本一の〇〇を誇る住宅の普及を通じた、〇〇の向上に向けた取組 | 新築戸建住宅の〇〇達成率 | 2017年 (2016年度) 53% | 2018年 43.3% | 2018年 43.3% | 2019年 % | 2019年 85% | |
| 4 | 「歩いて暮らせるまちづくり」を通じた、〇〇向上に向けた取組 | 〇〇〇〇に満足している人の割合 | 2013年 82.1% | 2018年 非公表% | 2018年 非公表% | 2020年 % | 2020年 80% | |

(2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

地方創生SDGsに積極的に取り組む地域事業者等と連携し、自律的好循環（将来的に補助金による支援に頼らず、持続可能な取組として自走すること）の形成へ向けた登録や認証の制度の構築といった取組等について、検討や具体化へ向けた取組状況について記載してください。

(3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

上記(1)の進捗状況を踏まえ、順調に進捗したもの、進捗が思わしくなかったものについて、特筆すべき内容を記載ください。（すべての項目を記載いただく必要はありませんが、進捗状況の悪いものについては対応策を含め記載してください。）

※特筆すべき部分が、全体計画の「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」へ記載している内容と重複する場合は【再掲】とし、モデル事業の「三側面ごとの取組の達成状況」、「三側面をつなぐ統合的取組の達成状況」と記載内容が重複する場合は、【詳細は後掲】とし、モデル事業のシートへ詳細の説明を記載してください。

※全体計画のみ進捗評価をする都市については、提案時のモデル事業の推進状況を記載してください。

(4) 有識者からの取組に対する評価

2. 自治体SDGsモデル事業又は特に注力する先導的取組

「特に注力する先導的取組」の進捗評価は任意となります。

(1) モデル事業又は取組名

○○○○

(2) モデル事業又は取組の概要

計画「2 (1) 課題・目標設定と取組の概要」から引用してください。枠内に収まらない場合等には、要約して記載してください。

(3) 三側面ごとの取組の達成状況

| 取組名 | 取組内容 | 指標名 | 当初値 | 2018年実績 | 2019年実績 | 2020年実績 | 2020年目標値 | 達成度 (%) |
|--|------|---|--|---|---|--------------|-------------------------------------|---------|
| 【経済】 ①-1 ○○なオ フィス環境を備えた○ ○の促進 ①-2 低炭素で 持続可能なまちづくり を先導する○○の整備 | | 低炭素で持続可 能なまちづくりの 先導モデルとなる 建物 | 2018 年3月 3棟 | 2019 年度 6棟 | 2019 年度 6棟 | 2020 年度 棟 | 2020 年度 8棟 | |
| 【社会】 ②-1 低炭素で 持続可能なまちづくり とSDGsの普及啓発 ②-2 歩いて回遊 しやすい○○なまち づくりの推進 | | 低炭素で持続可 能なまちづくりの 普及啓発 | 2018 年3月 都心エ ネルギー マスター プラン策 定 | 2019 年度 アクシ ョン プラン策 定 | 2019 年度 アクシ ョン プラン策 定 | 2020 年度 | 2020 年度 普及啓 発プログ ラムの展 開 | |
| 【環境】 ③-1 ○○○○ 制度の構築 ③-2 ○○○○ 事業の体制構築 | | 低炭素なまちづ くり及び総合エネ ルギー事業の枠組 みづくり | 2018 年3月 制度、 事業ス キームの 検討 | 2019 年度 アクシ ョン プラン策 定 プロジェ クト着手 | 2019 年度 アクシ ョン プラン策 定 プロジェ クト着手 | 2020 年度 | 2020 年度 制度、 事業の 実施 | |

(4) 「三側面ごとの取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

上記 (3) の進捗状況を踏まえ、順調に進捗したものの、進捗が思わしくなかったものについて、特筆すべき内容を記載ください。(すべての項目を記載いただく必要はありませんが、進捗状況の悪いものについては対応策を含め記載してください。) また、設定したKPIだけでは表せない進捗等があれば、定性的なコメントや、KPIに近い補助指標等を用いて説明してください。

※モデル事業「三側面をつなぐ統合的取組の達成状況」と記載内容が重複する場合は、【詳細は後掲】とし、モデル事業 (2) のシートへ詳細の説明を記載してください。
また、特筆すべき部分が、全体計画のシートへの記載内容と重複する場合は、【再掲】としてください。

2. 自治体SDGsモデル事業又は特に注力する先導的取組（三側面をつなぐ統合的取組）「特に注力する先導的取組」の進捗評価は任意となります。

(1) 三側面をつなぐ統合的取組名

○○○○

(2) 三側面をつなぐ統合的取組の概要

計画「2. (3) 3側面をつなぐ統合的取組の概要」から引用してください。
枠内に収まらない場合等には、要約して記載してください。

(3) 三側面をつなぐ統合的取組による相乗効果

経済⇔環境

経済⇔社会

社会⇔環境

| | | |
|--|--|--|
| | | |
|--|--|--|

(4) 三側面をつなぐ統合的取組の達成状況

| No | 指標名 | 当初値 | 2018年実績 | 2019年実績 | 2020年実績 | 2020年目標値 | 達成度(%) |
|----|---------------------------------|------------------|-----------------|-----------------|----------------|-----------------|--------|
| 1 | 【経済→環境】 環境関連ビジネス交流 | 2018年3月 4件 | 2019年度 7件 | 2019年度 7件 | 2020年度 件 | 2020年度 7件 | |
| 2 | 【環境→経済】 ○○プロジェクト | 2018年3月 0件 (検討中) | 2019年度 0件 (検討中) | 2019年度 0件 (検討中) | 2020年度 件 (事業化) | 2020年度 1件 (事業化) | |
| 3 | 【経済→社会】 企業誘致施策を活用した企業立地数 | 2018年3月 146件 | 2019年度 173件 | 2019年度 173件 | 2020年度 件 | 2020年度 164件 | |
| 4 | 【社会→経済】 ○○ブランドランキング | 2018年3月 3位 | 2019年度 2位 | 2019年度 2位 | 2020年度 位 | 2020年度 1位 | |
| 5 | 【社会→環境】 フォーラム、勉強会、視察等の年間参加者数 | 2018年3月 200名 | 2019年度 641名 | 2019年度 641名 | 2020年度 名以上 | 2020年度 400名以上 | |
| 6 | 【環境→社会】 オープンイノベーション | 2018年3月 0件 | 2019年度 0件 | 2019年度 0件 | 2020年度 件以上 | 2020年度 1件以上 | |

(5) 自律的好循環の形成に向けた取組状況

地域経済活性化のために地域事業者や地域金融機関等の連携により自律的好循環（将来的に補助金による支援に頼らず、事業として自走する）の具体化へ向けた取組状況について記載してください。

(6) 「三側面をつなぐ統合的取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

上記(4)の進捗状況を踏まえ、順調に進捗したもの、進捗が思わしくなかったものについて、特筆すべき内容を記載ください。（すべての項目を記載いただく必要はありませんが、進捗状況の悪いものについては対応策を含め記載してください。）また、設定したKPIだけでは表せない進捗等があれば、定性的なコメントや、KPIに近い補助指標等を用いて説明してください。

計画書に記載の「ステークホルダーとの連携」、「モデル的な取組の普及展開」について、変更や進捗したものがあれば、特筆すべき内容を記載ください。（過年度から変更等がないものについては記載いただく必要はありません。）

※特筆すべき点について、「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」、「三側面ごとの取組の達成状況」と記載内容が重複する場合は、【再掲（詳細説明）】とし詳細内容を記載してください。

(7) 有識者からの取組に対する評価

| |
|--|
| |
|--|